

【出演者プロフィール】

横山 令奈

Lena Yokoyama (ピアノ)

大阪府箕面市出身。両親の指導のもと7歳よりヴァイオリンをはじめ。父 故 横山莞五、母 故 清水玲子に師事。2006年よりイタリアに留学、2011年クレモナ モンテヴェルディ音楽院を審査員一致の満点で卒業。イタリア・クレモナ・スタウファー音楽院の特別奨学生として、2011年より5年間サルヴァトーレ・アッカルド氏の元で研鑽を積む。2011年イタリア・シエナ・キジャーナ音楽院サルヴァトーレ・アッカルドのコースにて優良卒業証書と奨学金を得る。その他、イタリア・ポルトグロアーロ市サンタチェチーリア音楽院にてイヴァン・ラバーリャ氏にヴァイオリンを師事。

2010年フィレンツェ・クレシェンド国際コンクールソロの部で1位を受賞。イタリアを中心にヨーロッパ内外の重要な劇場、音楽フェスティバルで演奏し好評を得る。2012年、ディエゴ・マッカニョーラ(ピアノ)と、アレッサンドロ・コピア(チェロ)と共にピアノトリオ“Trio Kanon”を結成、2015年ロスピリオージ室内楽コンクール第1位と聴衆賞を受賞。2018年トリノのピネローロ・トリノ国際室内楽コンクール(ジュネーブ国際音楽コンクール世界連盟)において第1位、併わせてブラームス作品最優秀演奏賞“Premio Cerutti-Bresso”、聴衆賞を受賞。そのほか数多くの国際コンクールで優勝、入賞を果たす。

2013年より今日までクレモナ・ヴァイオリン博物館にて展示楽器の公開演奏者を務めており、今までに同博物館にて A. ストラディヴァリウスなど様々な名器を演奏している。パヴィーア・ヴィッタディーニ音楽院ヴァイオリン科及び、フィエーゾレ音楽院、クレモナ・モンテヴェルディ音楽院室内楽科を教える。バロックヴァイオリン奏者として、アントニオ・グレコ率いるアンサンブル「Cremona Antiqua」のメンバーとしても活動している。

杉林 岳 Gaku Sugibayashi (ピアノ)

箕面市出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ学士課程修了後、渡欧。ウィーン市立音楽芸術大学(旧ウィーン市立音楽院)リート・オラトリオ声楽コレペティション科修士課程、並びに器楽コレペティション科修士課程、室内楽科大学教育課程を首席で卒業。

日本ピアノ教育連盟オーディション優秀賞、東京国際芸術協会新人オーディション最優秀新人賞、ロザリオ・マルチャーノ国際ピアノコンクールにてシューベルト賞、ピネローロ・トリノ国際室内楽コンクール第3位、大阪国際音楽コンクール/デュオ部門第1位および聴衆賞、ボウルダー国際デュオコンクール第3位など、国内外で受賞。

2021年より拠点を日本へ移し、エーデルベルク音楽教室を設立。ソリストのみならず室内楽奏者、リート伴奏者としても幅広く活動している。『Lyric』『Live in Osaka』の2枚のソロアルバムをリリース。



コロナ禍の禍の北イタリア、
クレモナの病院屋上で
ヴァイオリンを弾き医療
従事者を慰め、人々を感
動させた横山令奈さん

